

日本語教室が谷津南小の「どひゃっと祭り」に参加しました 興味や自信につながる大切な機会

伊東稔雄（広報部会）

今年度の「どひゃっとまつり」が谷津南小学校において、11月16日（土）に開催されました。当日は、校庭、体育館や教室においてさまざまなイベント等が催され、大盛況の1日となりました。

日本語教室部会の「世界を知ろうサポートプラン」が中心となり、日本語教室で学ぶ外国人学習者や地域に住む外国の方（11の国と地域）とともに参加、子どもたちとの交流が図られました。子どもたちは受付で「世界をつなぐサイン集めラリー」の用紙をもらい、各国のテーブルを回りサインとシールを集めます。そして最後に受付に戻ってくると、お菓子をもらうことができます。子どもたちの積極的に外国の方々と会話する姿が多く見られました。また、保護者のみなさんや地域の方々も興味深く参加している姿もありました。どの国のテーブルも大賑わいでした。外国の方々が積極的に話しかけたことと同時に、民族衣装をはじめ、その国固有のいろいろな物が用意されたことも大きかったように思います。具体的には、楽器、コインや民芸品など

です。外国の方々とコミュニケーションが取れた時の子どもたちのうれしそうな笑顔があふれていました。外国の方々も同様の笑顔でした。

グローバル化が急速に進展する現在、小さい頃から外国の方々と接し、各国の文化や伝統に触れ、また日本の文化や伝統も発信していく姿勢がますます大事になっていくのではないのでしょうか。そういう意味で、今回の交流は大切な機会であったように思います。子どもたちにとっては、喜びと同時にさらなる興味や意欲、また自信にもつながる時間であったと思います。また外国の方々にとっても、自国の紹介ができる良い機会であったと同時に、同じ地域に住む一員としてより深く地域に関わるきっかけになったのではないのでしょうか。

どこの国の人といった小さな枠ではなく、同じ星に住む人間として心の交流ができ、一体感を持つことができた有意義な時間であったように感じました。

